

# 今年「中華民国」成立100年 中国近代化の幕開けた孫文

## 福岡・南公園に記念碑

中国で、一九一一（明治四十四）年の辛亥革命が成功し、翌一九一二（明治四十五）年一月一日、南京に「中華民国臨時政府」が樹立された。今年はそのから



報 館

玄洋112号

平成24年4月1日

発 行

社団法人 玄洋社記念館

郵便番号 810-0062  
福岡市中央区荒戸三丁目  
6-36 西公園ハイツ201号  
電話 (092) 762-2511  
FAX (092) 762-2502

### 玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ敬戴ス可シ
- 第二条 本國ヲ愛重ス可シ
- 第三条 人民ノ権利ヲ固守ス可シ

### 今号の主な内容

- ▽石瀧さん情報収集に協力呼びかけ 2面
- ▽連載「追悼録から」 2面
- ▽「廣田弘毅先生顕彰祭」日程決まる 3面
- ▽賛助会員芳名録 3面



南公園の展望台に建つ「中山記念碑」

満百年に当たる。玄洋社先覚らの支援を受けて中国近代化の革命に奔走した孫文は、中華民国初代の臨時大統領に就任した。孫文は中国で「中国革命の父」「国父」と呼ばれ尊敬される。昨年、中国・北京の人民大会堂で催された辛亥革命百周年大会の会場でも、正面に孫文の大きな

肖像写真が掲げられた様子。孫文は中国語で「国父」がある。「中山」は孫文の号。昭和四十年、孫文生誕百年を記念して福岡在住の華僑を中心に、九州の華僑が建立した。先生致力中国革命期間九次渡日 其間數次来福小住 当時日本志士協助中國革命者不乏其人 對中國革命貢獻良多」

た。当時、日本の志士には中国革命を援助する者が少なく、貢献するところが多かった（要旨）と記されている。「福岡に来て」という下りに玄洋社の支援の姿が偲ばれる。辛亥革命から中華民国成立へ。それを支えた玄洋社の偉業は、正しく伝承されなければならない。

### 「先人館の整備を」

## 妹尾理事が議会で質問

### 福岡市、検討を約する

玄洋社が生んだ福岡県で初の総理大臣、廣田弘毅先生はじめ明治以降の福岡市ゆかりの先人を紹介、顕彰する「福岡先人館」の整備を提唱する玄洋社記念館理事で福岡市議会議員の妹尾俊見氏が、昨年十二月十四日の福岡市議会で一般質問に立ち、市の考えを質した。

児童の減少で統廃合される児童が新たな校舎に移る福岡市中央区大名の市立大名小学校は、昭和四年の鉄筋コンクリート建築で、市内に唯一現存する戦前の校舎。市は文化財として保存・活用するための調査を進めている。

「大名小学校出身者だけでなく、市長は、現在、大名小学校に、空き教室を利用して設置されている和田三造はじめ同校出身の画家の作品や廣田弘毅先生など著名人の関係資料を展示した「大名小学校美術館」は「大名小学校廃止後も保存整備する」とし、「妹尾議員提案の先人館整備についても併せて検討する考えである」と答弁した。

市に実現を求めた。「校舎三階は、先人に感謝するために仮称、福岡先人館の整備をぜひ実現してほしい。明治以降の福岡市ゆかりの先人は大名小学校出身の方々をはじめ多くいらっしゃる。子どもたちや福岡を訪れる観光客に偉業をたたえ紹介することは絶対に必要と考える」



議会で質問する妹尾議員

の明石元二郎（絵画「南風」で有名な画家の和田三造、小説家の夢野久作、そして、その息子でインド緑化の父といわれる杉山龍丸。福岡市出身でいえば玄洋社が輩出した政治家の中野正剛、同じく総理目前で亡くなられた緒方竹虎、部落解放の父といわれる松本治一郎、漫画「サザエさん」の長谷川町子、オッペケペー節の川上音二郎など枚挙にいとまがない。整備の可能性は

「玄洋社の真実を語り続けます」

石瀧さん活発な講演活動



「最高最大の定本的歴史大百科」という辞典が「玄洋社の本領は、玄界灘をこえてアジア大陸に進出する意思を表したとされるその社名のとおり」とピンポイントの解釈をしていることなどを紹介。「玄洋社の歴史が間違つて流布されている」と指摘した。

孫文の「辛亥革命」百周年の昨年、玄洋社研究で知られ、本紙に「玄洋社関係史料の紹介」を連載している福岡地方史研究会会長、石瀧豊美さんの講演活動とメディア取材が活発になっている。孫文を支援した玄洋社が中心テーマだが、論文、出版物をはじめ巷間語られる誤った玄洋社像への指摘が際立ち、受講者の興味を引きつけた。「玄洋社の真実を語り続けます」と、石瀧さんは決意を見せる。

昨年十二月二十五日、福岡市中央区天神一丁目、西日本新聞会館の西日本新聞TNC文化サークル「アイ&カルチャ天神」で開催された同文化サークルと筑紫女学園大学主催の「一日大

学天神塾」で、石瀧さんは三時間の講座を受け持った。テーマは「孫文と頭山満と玄洋社(上・下)」。

「最高最大の定本的歴史大百科」という辞典が「玄洋社の本領は、玄界灘をこえてアジア大陸に進出する意思を表したとされるその社名のとおり」とピンポイントの解釈をしていることなどを紹介。「玄洋社の歴史が間違つて流布されている」と指摘した。石瀧さんの痛快な話に、多くの受講者たちは、まさに「目から鱗が落ちる」思いで聞き入っていた。

今年二月十九日、同じく天神一丁目のアクロス福岡・国際会議場でNPO法人福岡歴史研究会(大谷賢二理事長)主催のシンポジウム「辛亥革命百周年特別企画『封印された福岡史の真実』」が開催され、石瀧さんは「孫文を助けた玄洋社」のテーマで講演した。辛亥革命百周年にちなんで、各地でそれぞれ、孫文支援をアピールするさまざまなイベントが展開されたが、この日のシンポジウムは「玄洋社の視点から」孫文と辛亥革命を知ろう、というのがテーマだった。講演壇に上った石瀧さんは「私は三十年間、玄洋社研究をしてきたが、玄洋社について書かれたものは間違っている」と言い続けてきたと述べ、間違いを具体的に挙げながら講演を進めた。種々の出版物で玄洋社を侵略主義、右翼と記すものが多いことについて石瀧さんは「それは歴史家たちの東京(中央)から見た評価。その根拠となっているのは戦後、GHQ(連合国軍総司令部)が貼ったレッテル」で講演する石瀧さん。石瀧豊美さんが、次の二点について、皆さまからの情報を求めておられます。ご協力をお願いいたします。

探しています

①昭和十九年十月五日に亡くなった頭山満翁(享年九十歳)の葬儀に二万人が参列したと言われている。その葬儀に関する写真(新聞、雑誌)に連絡ください。

②玄洋社社員・山本俣也氏の肩書は「頭山満翁秘書」となっています。この、山本氏のゆかりの方をご存じの方はいらっ

【連絡先】〒811-2113 福岡県糟屋郡須恵町須恵820-12 電話・ファクス 092-9333-0426

電話・ファクス 092-9333-0426

進藤喜平太の思い出・第2部 「追悼録」から

進藤喜平太翁追憶談 柴田 麟次郎(談)

(前号より続く)

これから末永節と三人相談の上で先ず東京の頭山先生に申し上げようと言う事になり、安永は萱野長知、福島熊次郎、金子克己等の同志と共に上京する事になった。具体的な事が決まれば直ぐ電報をくれと安永に約束して安永を送ったが待てど暮らせど電報は来ない。此の間に末永と安永が吾々の志を具体化する為めに百万奔走して居ったのであるが、僕は大きい待ちくたびれて居った。

或る日の事、僕が博多駅から俣に乗って玄洋社に向う途中の事であった。俣に乗るなどと言うのが當時の僕などには身分不相應な話で之れが大失敗のもととなったのだが、その俣が丁度呉服町にさしか、った時僕に向つて手を振りながら来る人がある。良く見るとその人が進藤先生であつて僕の俣をおし止める様にして「お、柴田君、良い所で會つた。君を探して居った所だ」と言われ「君の所に電報が来て居るよ」との事であった。

僕は安永からの電報を待ちに待つて居た所だったので「その電報を待つて居た所です」と申し上げた

進藤先生は一刻も早く僕に電報の来た事を知らせようと方々探し歩いて居られたので、それにもか、わらず僕は俣の上で電報の一言を聞いて、嬉しさの餘り俣から降りて先生に御禮も申し上げず俣に社に駆け込んだ。

(この項続く)

### 九州新幹線

## 全線開通から1年

新八代駅  
（熊本県八代市）―鹿  
児島中央駅  
（鹿児島市）  
間で平成十  
六年から部  
分開業して  
いたJR九  
州新幹線が



昨年三月十二日に福岡市の博多駅から鹿児島中央駅まで全線開通。同時に博多駅も「JR博多シティ」という名の新駅ビル「写真」に生まれ変わって（三月三日開業）一年が経過した。新幹線の全線開通は効果てきめんで、鹿児島県の指宿温泉は客が急増したという。

一方、阪急デパートと東京の大型物販店を誘致した新博多駅ビルは開業から一年足らずで五千万人の人を集めたといい、博多駅周辺地域のにぎわいづくりに大きく貢献している。

その影響で、西日本一を誇る福岡市の中心繁華街「天神」地区は、若干、客

足を奪われた模様。今後、天神地区と博多駅周辺との客足を巡る綱引きが激化しそうな雲行きだ。

（3月14日受け付け分まで・敬称略）

### 賛助会員芳名録

- ▼個人の部
- 浅野 秀夫 (福岡市)
  - 【二万巴】
  - 今林 秀幹 (福岡市)
  - 吉田 慧子 (同)
  - 川辺 俊幸 (同)
  - 魚谷 哲央 (京都市)
  - 進藤 勇 (府中市)
  - 木部 岳圭 (さいたま市)
  - 安部 義彦 (東京都)
  - 田坂 大藏 (福岡市)

### 「廣田弘毅先生顕彰祭」

## 今年5月19日に齋行

悲運の宰相、廣田弘毅先生のご遺徳を顕彰する社団法人廣田弘毅記念青少年育成会主催の今年の「廣田弘毅先生顕彰祭」は、五月十九日（土曜日）に齋行されます。時間は午前十一時からです。場所は福岡市中央区城

内五（福岡市美術館入り口）の廣田先生銅像前。参加費は千円です。詳細は廣田弘毅記念青少年育成会（電話092-762-2511）へお問い合わせください。大勢のご参加をお待ちしています。

廣田先生の銅像の北側約五十メートル、福岡市美術館玄関前に、玄洋社記念館の創設者で元福岡市長、福岡市名誉市民、進藤一馬先生の顕彰像があります。廣田先生顕彰祭ご出席の折にお立ち寄りください。

### 平成24年度

## 会費納入のお願い

玄洋社記念館賛助会員の皆様にはご健勝でお過ごしのこととお喜び申し上げます。玄洋社記念館の皆様には、経済情勢低迷の折、誠に恐縮ですが、何卒よろ定の活動を滞りなくすすることができました。ありがとうございます。

中国辛亥革命から百年の記念すべき年に当たった昨年は、全国各地でさまざまな催しが展開されました。福岡市博物館では、当玄洋社記念館の寄託資料を活用した企画展「アジアの激動と福岡ゆかりの人びと」が開催されました。同展を通じて、近代中国建国の父・孫文を支援し、アジアの解放に向けて活動した玄洋社の存在とその意義が、故郷・福岡の人々をはじめ多くの人々にも、より深く認識され理解されたものと考えられます。

さて、本年も四月を迎えるにあたり、当記念館は平成二十四年度分の賛助会費の受け付けを同月一日から始めさせていただきます。

法人会員の皆様、個人会員の皆様には、経済情勢低迷の折、誠に恐縮ですが、何卒よろ定のご賛助をお願い申し上げます。

賛助会費の受け付け要領は次のとおりです。

### 【賛助会費の額】

- ▼個人会員 二口一万円
- ▼法人・団体会員 一口三万円

納入は郵便振込または銀行振込でお願い致します。振込先は次のとおりです。

【郵便振込】口座番号 017701120738

【銀行振込】西日本シティ銀行赤坂門支店 普通預金 口座番号0740047

宛名はいずれも「玄洋社記念館」です。

社団法人 玄洋社記念館

建設コンサルタント  
建設事業の計画・調査・測量・設計・施工管理

ジーアンドエス・エンジニアリング株式会社

代表取締役社長 花田 勲  
専務取締役 児玉 和久

本社 福岡市博多区東比恵三丁目二四一九  
〒八二・〇〇〇七 電話(092) 48-1131-100  
東京支社 東京都杉並区高円寺南一丁目二二一  
〒一六・〇〇三 電話(03) 5378-15800  
営業所 千葉・浦和・神奈川・山口・佐賀・北九州・大分・長崎

福岡鮮魚市場のコア企業!! 21世紀の水産業界を領導するアキラグループ

◇鮮魚卸業◇

## 株式会社 アキラ水産

代表取締役社長 安部 泰宏

本社 福岡市中央区長浜3丁目11-3  
電話02171116601(代表)

関連会社/株式会社コウトク水産

### 株式会社 オー・エー企画

代表取締役 入江 秀雄

810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目11-82  
TEL(092) 711-8228  
FAX(092) 711-8228

### 造園・緑化 自然とコミュニケーション

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 壽信



本社 〒812 福岡市東区青葉一丁目六一五三  
TEL 092-269-1100 六七八代  
FAX 092-269-1145 四五五四  
E-mail: info@shouhouen.jp

(財)日本医療機能評価機構認定  
開放型病院・臨床研修指定病院



## 原土井病院

特定医療法人  
理事長 原 寛

〒813-8588  
福岡市東区青葉6丁目40番8号  
☎092-691-3881(代)  
http://www.haradoi-hospital.com/

福岡  
だより

# 玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

第 54 回

## 宇田川文海『西南拾遺』(二四)

(早稲田大学図書館所蔵)

明治十二年九月刊行

小室信介

宇田川文海編輯

『西南拾遺』巻之五

西南戦争の局面として戦われた、福岡士族の反乱「福岡の変」。その懲役一、二年を終えて出獄した人々が玄洋社結成の中核となる。

芸妓小梅の愛人であった森震志は秋月の戦場で生き別れとなったままで、小梅は震志の消息を探し求めた。そんなとき、京都の妓楼で福岡から東京へ帰るといふ巡査に出会った。

小梅、再び妓籍に入る

(注統き)

渡辺某、震志の行衛を語る

小梅は斯くと聞きて、空へも登る様に打喜び、轟く

然るに福岡の賊徒共は鹿児島・熊本の賊徒に似もや

をいたく好みて候ふなり。苦しからずは震志とやらん

小梅は夢かと計りに打喜び、さては震志ぬしには都より程遠からぬ東の方なる

森震志は軍兵に取り押さえられ懲役7年の刑を受けて岐阜県大垣の懲役場に服役していたとされる。写真は、大垣市の風景。大垣市は豊富な良質の地下水に恵まれ「水都」と呼ばれる

胸をおし鎮めて、其となう福岡の動静、または殿原のなりゆき如何になりしやと問ひ試みに、渡辺は小梅が福岡勢の由縁あるものは更に心づかねば、いと興ある面地して芸妓に似気なき新聞話、流石は都の青楼なりけり。所望とあらば僕が彼地にありて目撃したりし一條を洩れなう汝に告げ知しなん。黙して聞きね、と襟かき合して居直りつ、物語る様、

さては震志ぬしには運つたなう生捕となり玉ひしか。平生より勝れし負じ魂にはいかばかり口惜うや思はれけん。されど猶此世に存へおはするこそ嬉しけれと、踊る心をおし鎮めて猶も渡辺に打向ひ、客人には実に目覚しき功を顕し玉ひしものかな。

其方儀、越智彦四郎ノ逆意ニ与シ、党与ヲ卒ヒ、官兵に抵抗セントスル科ニ依リ、懲役十年ノ処、情状ヲ酌量シ、除族ノ上、懲役七年申付ル。

美濃の国不破の関屋を打越ればこそ斯くてあれ。能くこそ知らし玉ふたれ。えて、大垣の町に居玉ふと行衛知る、上は片時も早いかや。斯くとは知らで、朝う尋ねゆかんとはやる心を面へも出さで、帳簿を畳みして渡辺に返しつ、客人よ



(以下次号)